

2025 年 8 月 29 日 全 7 頁

Indicators Update

2025 年 7 月 鉱工業生産

自動車工業などが減産、先行きは関税政策の悪影響に注意

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

[要約]

- 2025 年 7 月の生産指数は前月比▲1.6%と 2 カ月ぶりに低下し、コンセンサスを下回った。内訳を見ると、自動車工業や生産用機械工業などの減産が押し下げ要因となった。経済産業省は基調判断を「一進一退」に据え置いた。
- 先行きの生産指数は、軟調な推移が続くだろう。米トランプ政権による関税政策がもたらす悪影響には引き続き注意が必要だ。日米関税交渉は合意に達し、対日相互関税率は 15%に設定された。事前に通知されていた 25%の相互関税率と比べると、日本経済への悪影響は一定程度緩和された形となる。だが、海外経済の大幅な落ち込みや、米国における販売価格引き上げ、現地生産の増加など、リスク要因は残っている。関税政策を巡る国内外の動向や経済活動への影響を引き続き注視する必要があるだろう。
- 2025 年 9 月 5 日公表予定の 7 月分の景気動向指数は、先行 CI が前月差▲0.1pt の 105.5、一致 CI が同▲2.9pt の 113.8 と予想する。この予測値に基づくと、7 月の基調判断は機械的に「下げ止まり」に据え置かれる。

図表 1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2024年 12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
鉱工業生産	▲0.3	▲1.1	+2.3	+0.2	▲1.1	▲0.1	+2.1	▲1.6		
コンセンサス								▲1.0		
DIR予想								▲1.2		
生産予測調査									+2.8	▲0.3
補正值(最頻値)									▲1.7	
出荷	+0.0	▲1.0	+3.0	▲1.8	+0.1	+2.4	▲0.8	▲2.5		
在庫	▲0.3	+1.5	▲1.7	+1.2	▲0.8	▲1.8	▲0.3	+0.8		
在庫率	▲1.0	▲0.4	▲3.5	+4.4	▲0.6	▲1.1	+0.9	+0.4		

（注）コンセンサスはBloomberg。

（出所）Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

【生産】自動車工業や生産用機械工業などが減産し、2 カ月ぶりに低下

2025 年 7 月の生産指数は前月比▲1.6%と 2 カ月ぶりに低下し、コンセンサス（同▲1.0%、Bloomberg 調査）を下回った。内訳を見ると、自動車工業や生産用機械工業などの減産が押し下げ要因となった。経済産業省は基調判断を「一進一退」に据え置いた。

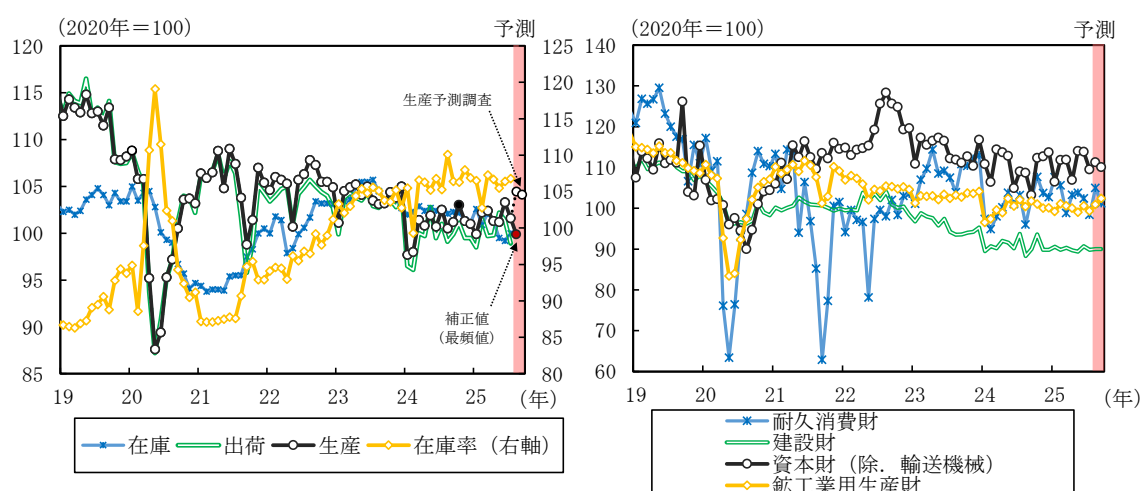
生産指数を業種別に見ると、15 業種中 9 業種が前月から低下した。自動車工業（前月比▲6.7%）は 3 カ月ぶりに低下した。品目別に見ると、普通乗用車（同▲8.3%）や駆動伝導・操縦装置部品（同▲7.1%）などが減産となった。業界統計を見ると、2025 年 7 月の乗用車の新車登録台数（大和総研による季節調整値）は前月から減少しており、この結果とも整合的だ。生産用機械工業（同▲6.2%）は 3 カ月ぶりに低下し、品目別では、半導体製造装置（同▲17.6%）や化学機械（同▲41.3%）などが減産となった。経済産業省「鉱工業出荷内訳表」によると、生産用機械工業は輸出向け（同+1.0%）は上昇した一方、国内向け（同▲15.3%）が大幅に低下した。汎用・業務用機械工業（同▲4.5%）では、コンベヤ（同▲55.9%）やボイラ部品（同▲67.4%）などが減産となった。

財別に見ると、非耐久消費財（前月比+0.9%）は上昇した一方、資本財（除. 輸送機械）（同▲3.8%）と生産財（同▲1.1%）、耐久消費財（同▲3.9%）、建設財（同▲1.0%）は低下した。

【出荷・在庫】出荷指数は 2 カ月連続で低下

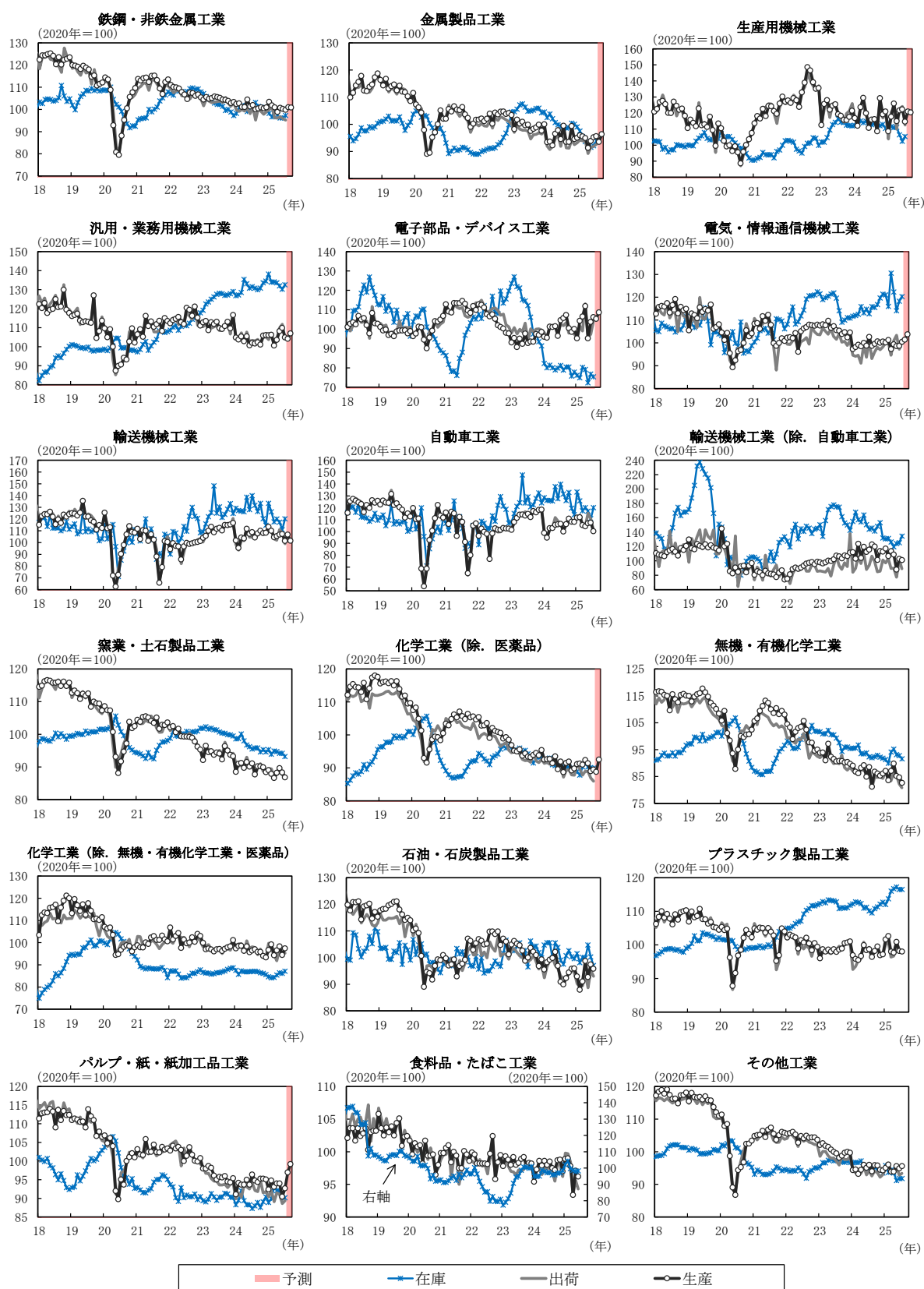
2025 年 7 月の出荷指数は前月比▲2.5%と、2 カ月連続で低下した。業種別では、自動車工業（同▲8.9%）や生産用機械工業（同▲9.3%）など 15 業種中 8 業種が低下した。財別に見ると、非耐久消費財が前月から上昇した一方、資本財（除. 輸送機械）と耐久消費財、生産財、建設財は前月から低下した。在庫指数は同+0.8%、在庫率指数は同+0.4%となった。

図表 2：鉱工業の生産・出荷・在庫（左）と財別の生産（右）



（注）生産指数の予測値（赤色）は、製造工業生産予測指数の補正值。その他シャドー部分の値は、製造工業生産予測調査による。
（出所）経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業 (除. 医薬品) の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

【先行き】生産指数は軟調に推移、米関税政策がもたらす悪影響には引き続き注意が必要

先行きの生産指数は軟調な推移が続くだろう。米トランプ政権による関税政策がもたらす悪影響には引き続き注意が必要だ。

日米関税交渉は合意に達し、対日相互関税率は 15%に設定された。品目別関税では自動車・同部品への関税率が 15%に引き下げられるほか、半導体・医薬品については、仮に追加関税が課される場合も、日本を他国に劣後する形で扱わないことが合意された¹。

事前に通知されていた 25%の相互関税率と比べると、日本経済への悪影響は一定程度緩和された形となる。だが、米国と他国との合意内容次第では、海外経済の大幅な落ち込みを受けて日本からの輸出が減少し、生産指数が押し下げられるリスクがある。

企業は今後、米国市場における販売価格の引き上げやサプライチェーンの見直しに動く可能性がある。販売価格の上昇は、日本製品の価格競争力を低下させ、輸出の逆風となる。また、関税を回避するため、米国での現地生産や現地調達が増加すれば、日本からの輸出は直接的に減少する。実際、自動車業界では、一部メーカーが関税政策によるコスト増を懸念し、日本から米国への生産移管をすでに決定している²。こうした動きが他メーカーにも広がれば³、国内生産に対する悪影響が拡大する可能性がある。

加えて、日本政府は日系自動車メーカーに対して、米国生産車の逆輸入を促すことを検討している。仮に、自動車の輸入台数が大幅に増加すれば、国内生産の押し下げ要因となることが懸念される。関税政策を巡る国内外の動向や経済活動への影響には、引き続き注意が必要だ。

製造工業生産予測調査を見ると、2025 年 8 月の生産指数は前月比+2.8%と見込まれている。業種別では 11 業種中 7 業種が上昇する見通しだ。輸送機械工業（同+5.2%）では乗用車などの増産が見込まれるほか、生産用機械工業（同+5.5%）や石油製品工業（同+8.1%）などの上昇が見込まれる。ただし、実際の生産指数は予測値よりも下振れする可能性がある。生産指数全体の計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）⁴で見ると、8 月は同▲1.7%と見込まれている。前月比で+2.8%という増産計画は、やや割り引いて見る必要があるだろう。

2025 年 9 月の生産指数は前月比▲0.3%と見込まれている。業種別では 11 業種中 4 業種が低下する見通しだ。輸送機械工業（同▲4.9%）で乗用車などの生産低下が見込まれるほか、その他（同▲3.0%）、生産用機械工業（同▲0.5%）、鉄鋼・非鉄金属工業（同▲0.2%）の低下が見込まれる。

¹ 内閣官房「[米国の関税措置に関する日米協議：日米間の合意（概要）](#)」（令和 7 年 7 月 25 日）

² NHK「[ホンダと日産 現地向け生産の一部 日本からアメリカへ移管](#)」（2025 年 4 月 16 日）

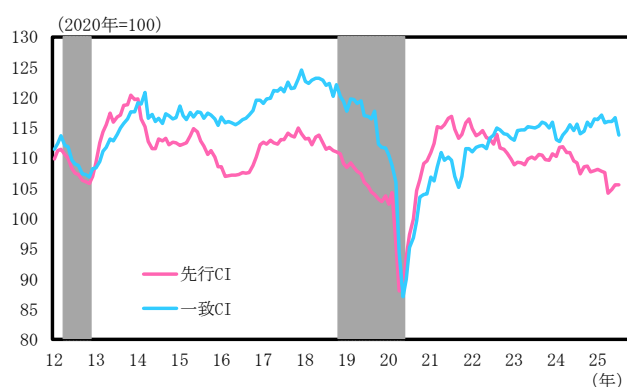
³ 日本経済新聞「[いすゞ、米国向け小型トラックを現地生産へ 関税影響緩和見込む](#)」（2025 年 7 月 28 日）

⁴ 生産計画は生産実績よりも上振れした値となることが多いため、生産指数全体の計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）が公表されている。

【25 年 7 月景気動向指数】先行 CI、一致 CI いずれも低下を見込む

鉱工業指数の結果を受けて、2025 年 9 月 5 日に公表予定の 7 月分の景気動向指数は、先行 CI が前月差▲0.1pt の 105.5、一致 CI が同▲2.9pt の 113.8 と予想する（図表 4）。先行 CI では構成指標のうち、消費者態度指数や鉱工業用生産財在庫率指数（逆サイクル）、日経商品指数（42 種総合）などが前月から悪化した。一致 CI では構成指標のうち、投資財出荷指数（除輸送機械）や耐久消費財出荷指数、輸出数量指数などが前月から悪化した。この予測値に基づくと、7 月の基調判断は機械的に「下げ止まり」に据え置かれる。

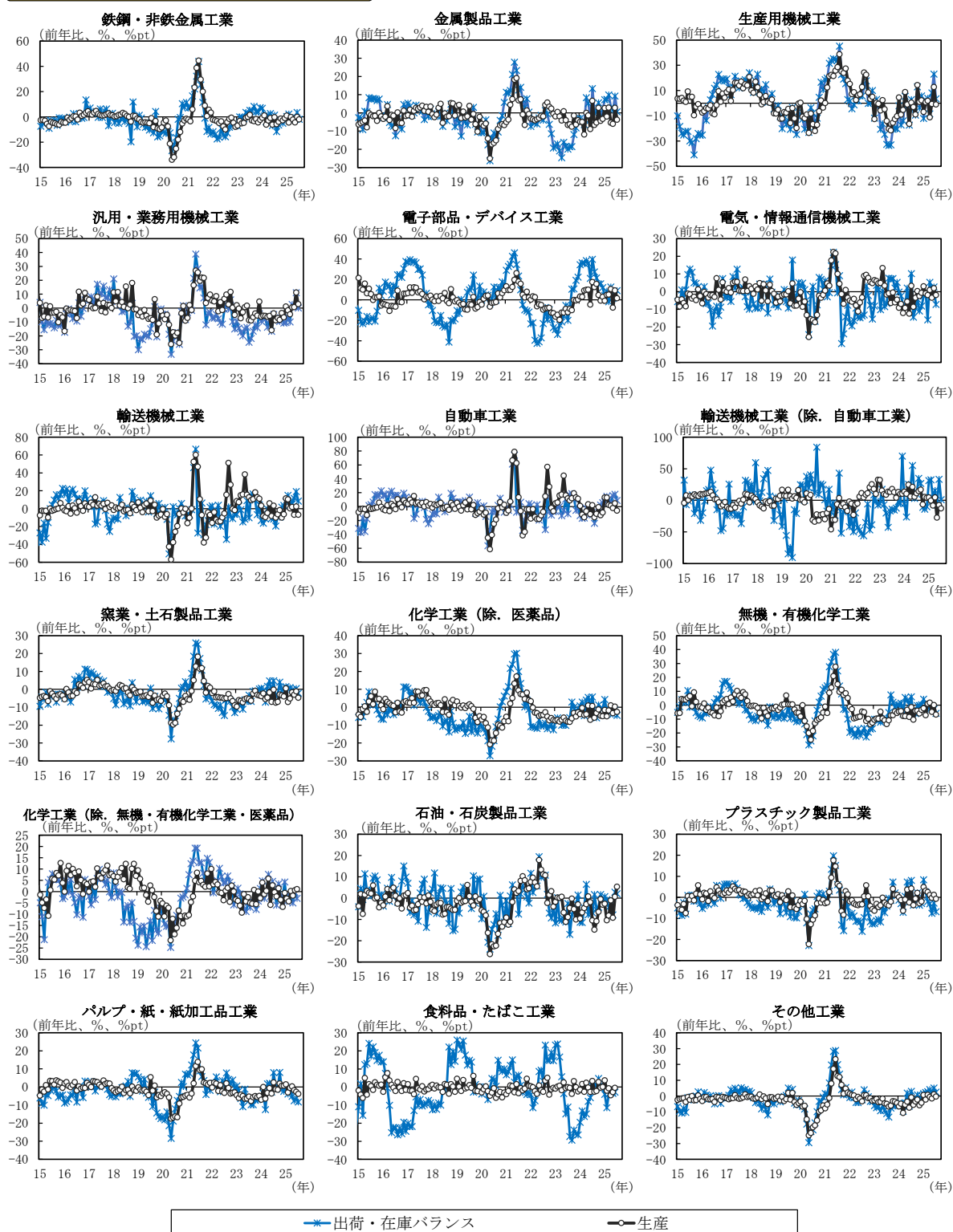
図表 4：景気動向指数（先行 CI、一致 CI）と基調判断の推移



(注) 左図の直近は大和総研による予測値。シャドーは景気後退期。
右図の2023年4月以前の基調判断は2015年基準による。2025年7月は大和総研予想。
(出所) 内閣府統計より大和総研作成

基調判断		基調判断	
2024年1月	足踏み	2025年1月	下げ止まり
2024年2月	下方への局面変化	2025年2月	下げ止まり
2024年3月	下方への局面変化	2025年3月	下げ止まり
2024年4月	下方への局面変化	2025年4月	下げ止まり
2024年5月	下げ止まり	2025年5月	下げ止まり
2024年6月	下げ止まり	2025年6月	下げ止まり
2024年7月	下げ止まり	2025年7月	下げ止まり
2024年8月	下げ止まり		
2024年9月	下げ止まり		
2024年10月	下げ止まり		
2024年11月	下げ止まり		
2024年12月	下げ止まり		

業種別 出荷・在庫バランスと生産



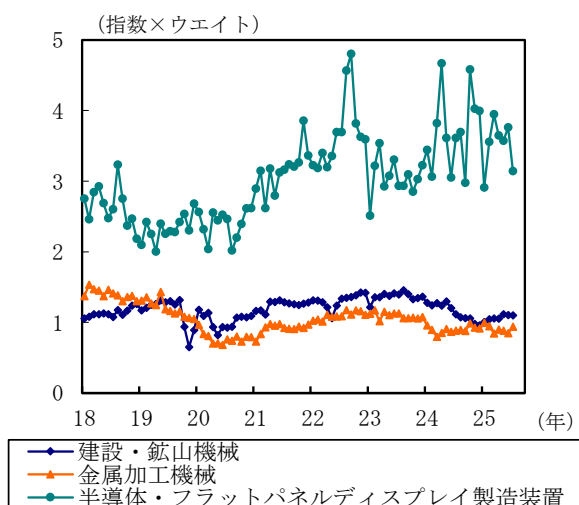
(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

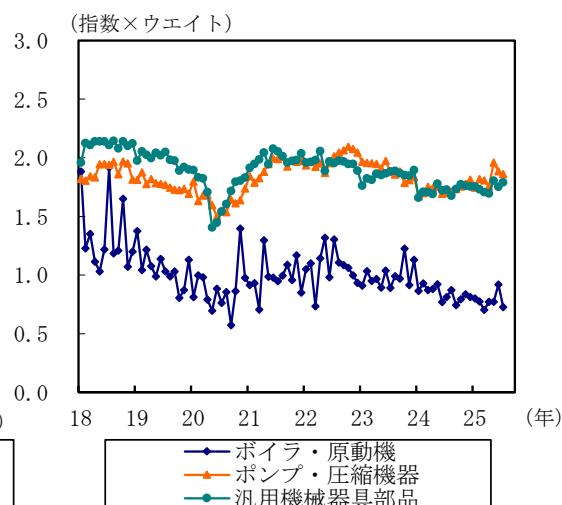
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

主要産業の生産動向(季節調整値)

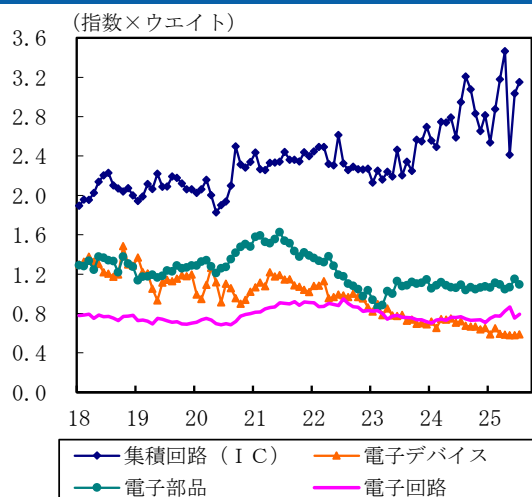
生産用機械



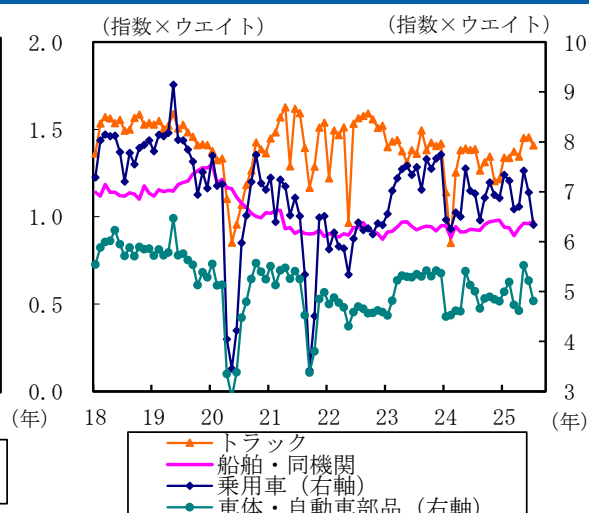
汎用・業務用機械



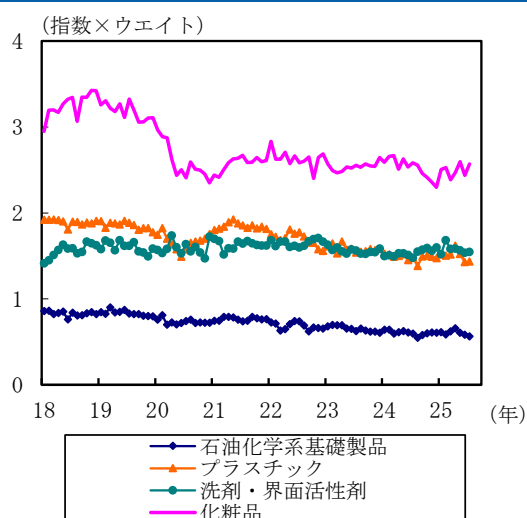
電子部品・デバイス



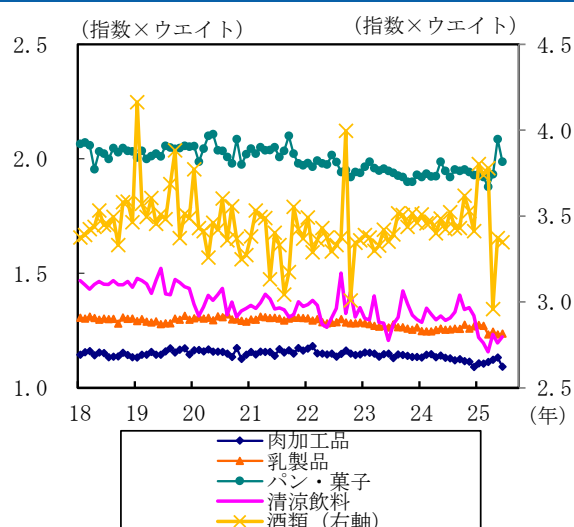
輸送機械



化学



食料品・たばこ工業



(注) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成